



録画配信の
2次元コード

船川 秀子
公明党

軟骨伝導イヤホンの導入／ 投票支援カードを投票券に

◆軟骨伝導イヤホン

Q 聞き取りにくい高齢者等への窓口での対応は？

A 福祉部長 大きめの声でゆっくりと話し、場合によっては筆談し、その内容をメモにして渡すなどの対応をしている。また、内容によっては、プライバシー保護の観点から別室で対応するなどの配慮を行っている。

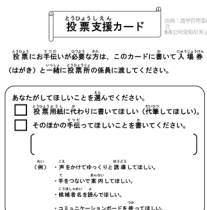
Q 窓口で軟骨伝導イヤホンの導入は？

A 福祉部長 声が聞き取りにくい方との会話に活用できる機器等については、軟骨伝導イヤホン以外にも対話支援機器や文字変換アプリなども考えられることから、導入している近隣市の利用状況や課題等を確認した上で、導入の必要性を見極めたい。

◆障がいのある方や高齢者への投票所での配慮

Q 投票支援カードはどのように活用するのか。投票券に記載することへの見解は？

A 選挙管理委員長 投票所で、口頭による申出が困難である方が、代理投票や投票所内の誘導や候補者名の読み上げなどの対応してほしい内容を事前に印刷、記入して受付に提示することで、係員に必要な支援の内容などを伝えるために使用するものである。投票支援カードは市公式ホームページへ本年1月より掲載した。現時点で国が示しているレイアウトでは自治体が任意に記入できるスペースに制約があることから、標準化による新システム稼働後に投票支援カードを記載することについて検討してまいりたい。



投票支援カード

その他のテーマ

- ▶ 带状疱疹ワクチン接種について
- ▶ コミュニケーションボードについて



録画配信の
2次元コード

広山 清志
公明党

狭山市地域公共交通計画(案)の 具体的な実施内容は？

◆新たな地域公共交通サービスの検討

Q 令和7年～8年の2年間に、柏原、奥富、水富地区への「新たな地域公共交通サービス」導入の検討・協議は行う予定か。

A 市民部長 新たな地域公共交通サービスの他地区への導入については、市内公共交通の一体的な再編に向けた協議に合わせて、2年間の検討・協議の中で市民分科会を開催して検討してゆく。

◆新たな地域公共交通サービスの実施

Q 令和9年からの「実施」とは、柏原、奥富、水富の3地区への「新たな地域公共交通サービス」を実施する、と認識してよいのか。

A 市民部長 令和9年度に全ての地区で導入するというのではなく、その必要性も含めて、市民分科会を開催して段階的に検討・協議を進め決定する。

◆ペットボトルの回収事業

Q ペットボトルの「ボトルtoボトル」のリサイクル事業とは。

A 環境経済部長 市内各集積所から収集したペットボトルを、リサイクル事業者と飲料メーカーが連携し、使用済ペットボトルを新たなペットボトルとして再生し、飲料メーカーが使用することで、「水平リサイクル」となり、持続可能なリサイクルの仕組みに貢献することとなる。

また、この取組を通じて「ペットボトルは資源である」ことを市民に再認識していただき、さらなる分別意識の向上が期待できる。



公共交通サービスは次のステップへ